

新しい専門外来を御紹介致します

乳腺・甲状腺外来

乳がんについて



香川大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科

講師 紺谷 桂一

乳がんは増加している

肺がんや大腸がんなどとともに、乳がん患者数は年々増加しています。1992、3年頃より日本人女性における乳がん患者数は、胃がんを抜いて第1位になりました。香川県では、平成13年に359人だった乳がん患者数は平成17年には500人を超えました。なぜこれほど乳がんが増加したのでしょうか。その原因はいろいろありますが、食生活を含む生活様式の欧米化、体格の大型化、少子化や授乳の減少などが挙げられます。そのほか過度の飲酒や喫煙も乳がんの原因になることがわかってきました。

乳がん死亡を減らすための乳がん検診

乳がん患者さんの手術10年後の生存率は約77%とされています。この数字は胃がんや肺がんと比べると非常に高い生存率です。その理由として、乳がんは他のがんと比べて進行が遅いこと、発見が容易であること、手術法が確立されていること、抗がん剤やホルモン治療が効きやすいことなどが挙げられます。

特に早期発見は乳がん死亡率を低下させるために最も重要と思われれます。

自己検診と定期的な乳がん検診受診をお勧めします。自己検診は正しい検診法を身につけて月に1度は行ってください。乳がん検診は最低でも2年ごと、できれば毎年継続して受けることが大切です。触診のみの検診では不十分であり、マンモグラフィー（乳房レントゲン）や超音波検査を併用した検診が早期発見に必要であることがわかってきました。早期に乳がんが発見できれば、小さな手術で根治切除が可能になりますし、術後の抗がん剤も併用しなくて済みます。

香川県の乳がん検診受診率は3～4%と全国と比べて極端に低いことが最近の調査でわかりました。早期発見、早期治療を心がけましょう。

※外来診療日 毎金曜日 14:00～17:30（電話予約可）

理 念

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します。

疼痛（ペイン）外来

麻酔科 医師 齋藤 敬三

こんにちは。

平成19年5月より、水曜日の午後だけですが、手術の麻酔、ペインクリニック外来を担当させていただく事になりました齋藤と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

“ペイン・クリニック”という言葉はご存知でしょうか？この言葉からは痛そうな印象を受けられる方が多いと思います。むしろ、“痛みの治療”という言葉の方がわかり易いと思います。注射等により、血行を改善し、痛みを緩和し、日常生活をより良くするための一つの治療法と理解していただければいいと思います。

“神経ブロック”という言葉も同様に受け取られがちですが、外来では局所麻酔薬という薬剤（歯科治療の麻酔と同じ薬剤）を使用することがほとんどなので、力が入りにくい状態になっても時間がくれば元の筋力に戻るのです、心配はいりません。

どのような病気、症状の時に適応になるのかというと、まず頭のとっぺんから足の先までの痛み、シビレ、血行障害を起こしてくる病気はほぼ適応と思われれます。相談だけでも結構ですので、一度外来においで下さい。

※外来診療日 毎水曜日 14:00~18:00（電話予約可）

皮膚科 外来

平成19年5月より当院皮膚科に勤務しております古林利治（こばやし としはる）、古林郁乃（こばやし いくの）と申します。二人とも平成11年に香川医科大学（現香川大学）を卒業しました。香川医科大学皮膚科において2年間研修した後、奈良県立医科大学皮膚科に移り、約6年間、奈良や大阪の病院で皮膚科の診療に携わって参りました。

この度、懐かしい香川に戻り当院で仕事をさせて頂けるようになったことを大変嬉しく思っております。

皮膚科で診ることが多い病気は、湿疹、虫刺され、じんましん、とびひ、いぼ、水虫、ニキビなどですが、中には手術が必要な腫瘍や、レーザー治療が有効なアザなどもあります。また、内臓に問題があるために皮膚に変化が起こってくる場合もあり、そのときには他科の先生方と協力して治療に当たることが不可欠となります。今まで経験し学んできたことを生かして、患者様に納得して頂けるような医療を提供できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



皮膚科 医師
古林 利治



皮膚科 医師
古林 郁乃



阪本病院では、最新のマルチスライスヘリカルCTで精密検査が受けられます

今年5月、当院は最新のCTスキャナを新しく導入いたしました。

この装置は、瞬時に細かく4断面（スライス）が同時に撮影できる世界最高水準のマルチスライス技術を搭載していますので、撮影時間の大幅な短縮が可能になり、被曝線量をおさえ、最高レベルの検査が行えます。従来のCTに比べ、多くの情報が得られるようになり、今まで発見できなかった微小な病変の診断も可能です。

頭部、胸部、腹部等全身の断層像（輪切り）や立体像（3D）の鮮明な画像が得られ、患者様は寝台に楽な姿勢で寝ていただき、安心して検査を受けていただけます。



新しく職員としてお迎え致しましたスタッフのご紹介を致します。



看護師
吉岡 直美



看護師
矢竹 真美



看護師
大西 真美



理学療法士
松下 圭一



理学療法士
松島 由佳



理学療法士
池本 公哉



理学療法士
松岡 祐美



作業療法士
勝山 芳昌



作業療法士
松本 雄治



作業療法士
森 紀之



事務員
元行 彩



安全衛生優良事業所として表彰されました

この度、香川労働基準協会より安全衛生優良事業所として表彰を受けました。

事業所において、平素より労働災害の防止について日頃より最重点課題として安全衛生管理へ積極的な取り組みを行って来ました。その成果が他の事業所の模範と認められ、今年度の定例総会にて表彰を受けました。これを基に今後益々職員一丸となって、更に院内の安全衛生管理に邁進いたします。



各科医師名及び診察日一覧

2007年6月15日現在

診療科目	診療医師
整 形 外 科	院 長 阪本 一樹 名譽院長 阪本 謙一 部 長 栗生 雅人 医 師 吉村 裕 徳島大学医学部 整形外科医局・医員
泌 尿 器 科	顧 問 竹中 生昌
外 科・内 科・消 化 器 科	副 院 長 吉田 勇人・宮下 浩明・紺谷 桂一・法村 尚子
脳 神 経 外 科	副 院 長 小川 智也・神内 隆宏
形 成 外 科	医 師 松本 和也・山野 雅弘・松尾 伸二
放 射 線 科	医 師 原田 雅史
皮 膚 科	医 師 古林 利治・古林 郁乃

科目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
整 形 外 科	○	○	○	○	○	○
内 科	○	○	○	○	○	○
外 科	○	○	○	○	○	○
脳 神 経 外 科	○	○	○	○	○	○
泌 尿 器 科	○		○		○	○ (午後)
形 成 外 科	○		○ (午後5時迄)			○ (午前)
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○
皮 膚 科		○		○	○	○ (午後)
乳 腺・甲 状 腺 外 来					○ (午後)	
疼 痛 (ペイン) 外 来			○ (午後)			

※日・祝祭日は休診となっておりますが、急患の場合はこの限りではありません。